

あゆむ会



〒326-0141
栃木県足利市小俣町3294番地2
児童養護施設「イースターヴィレッジ」
「イースターヴィレッジと
ともに歩む会」

TEL 0284-62-3501
FAX 0284-62-6610
info@easter-village.or.jp



「さあ、ベツレヘムへ行こう。
主が知らせてくださった出来事を見ようではないか。」
(ルカによる福音書2：15)



クリスマスおめでとうございます

今年も、地元や近隣の地域の皆様、幼稚園や学校の先生方、ともに歩む会やカトリック教会の皆様の温かいご理解とご支援のおかげで、イースターヴィレッジの子どもたちが日々成長し、職員一同とともにクリスマスと新年を迎えられますことに心から感謝申し上げます。

イースターヴィレッジを訪れる度に幸せだなーと感じるのは、子どもたちが、わたしを見つけると、滅多に会うわけではないのに、「矢吹さーん。何しに来たのー」、と明るく、元気な顔で声を掛けてくれることです。驚くとともに、その度に、子どもたちに一層の親しみを感じるのです。

今年はイースターヴィレッジにとっても、また、後ろにいるさいたま教区にとっても、希望が膨らむ時の来たことを感じさせてくれる年だった気がしています。4月に新しい施設長さんを迎えての歩みが始まり、また、9月には教区に新しい司教様に来てくださったことからそう感じるのかもしれませんが、現実を感じる施設内の新鮮な空気は来年への期待を膨らませてくれます。

そうは言っても、世界に目をやると、人として生きていく必要を遥かに超えて力を手にした強い人たちが際限もなく強くなろうとして、大多数である、弱くされている人たちを一向に顧みようとしない姿がいやというほど目に飛び込んできて、思わず目を覆いたくなります。そんな社会の現実からじっと目を逸らさず、子どもたちの未来のために、あきらめることなく、皆さんの祈りと支援に勇気をいただきながら、皆さんと手を携えて、くる年も一步一步、子どもたちと共に歩んでゆきたいとの思いを新たにしています。今このとき、幼子イエスがお生まれになりたいと切望していらっしゃるベツレヘムのうまやは、実は、わたしたち一人ひとりの心の中にあるに違いありません。

新年が、皆様にとっても、そして、世界中のすべての人にとっても、平和な良い年でありますように、神さまの祝福を願いつつ。

2018年 クリスマス

(社会福祉法人) イースターヴィレッジ 理事長 矢吹 貞人

今年もよろしくお祝い申し上げます

社会福祉法人「イースターヴィレッジ」

理事長 矢吹 貞人 理事・監事・評議員一同

児童養護施設「イースターヴィレッジ」

地域小規模児童養護施設「谷の家」(グループホーム)

小規模住居型養育事業「丘の家」(ファミリーホーム)

施設長 菊地 廣光 職員一同・子どもたち

「イースターヴィレッジとともに歩む会」

会長 川田 秀幸 幹事・役員一同





第13回イースター祭



イースターヴィレッジと共に、地域の方々と共に

恒例のイースター祭を迎えた11月3日(土)、ありがたいことに今年も絶好の秋晴れに恵まれました。イースターヴィレッジ職員のみなさん、歩む会のみなさん、各出店者のみなさん、ボランティアスタッフのみなさんの絶大なるお力添えをいただき、また小俣地区自治会長連合会様の力強いバックアップをいただき、多数の来場者で盛況のうちに幕を閉じましたこと、先ず以て厚く御礼申し上げます。

開会セレモニーで小俣地区自治会長連合会・萩原会長からごあいさつをいただきました。その中で萩原会長は「私たち小俣地域はイースターヴィレッジと一緒にです」という趣旨のことを仰った(表現はちょっと違うかもしれませんが)のですが、その言葉がとても印象深く心に残りました。

人と人の関わり方はさまざまです。付き合い方というか、距離感のようなものも意外と難しいように思います。なかなかよい答えが見つかりません。ただ、わからないなりに考えた結果として、「受け容れる」ということはすごく大切なのではないかな、と思っています。「受け容れる」ということが具体的にどんなことなのか漠然としたイメージしかないのですが、なんとなくそんな気がします。相手のことをよく知り、自分のことをよく知ってもらうことができれば、少しはそんな関係に近づけるのではないかな・・・と思っています。私の個人的な考えではありますが、イースター祭は、そのきっかけづくりというふうに考えて関わってきましたので、萩原会長のお話は、私にとってはまさに力強い応援の言葉、そんなふうに思えました。

私たちの「歩み」はまだまだ続きます。イースターヴィレッジと共に、地域の方々と共に。今年のイースター祭では、私たちが歩み続ける勇気をいただけたような気がしました。

イースター祭実行委員長 山口 豊



イースター祭に参加して

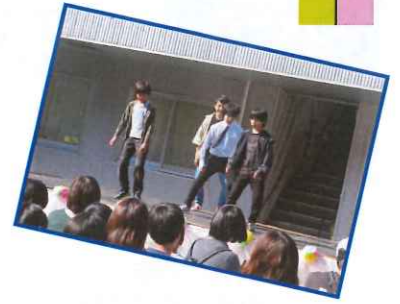
私は普段、小俣小で教員として働いています。休み時間になると、私の周りには子どもたちがたくさん寄ってきて、話をしてくれたり遊びに誘ってくれたりします。私にとって子どもたちとの関わりは元気の源です。子どもたちに囲まれて、いろいろな刺激をもらって、本当に幸せな毎日です。「そんな大切な子どもたちが少しでも喜んでくれるなら…」、「どんなにつらくても前を向いて頑張っている子どもたちのために…」そんな気持ちで、毎年イースター祭に出させていただき、歌い続けています。そして、ステージ上から子どもたちが笑顔になっているのを見て、私も嬉しくなります。これからも、子どもたちの笑顔や頑張りのために、出演させていただくつもりでいます。

小俣小 3年2組担任 元田 勝章



イースター祭の感想

僕はダンスの発表をしました。今年の曲は DA PUMP「U.S.A.」でした。日々の練習を頑張って、本番も成功しました。会場のお客さんたちと一緒に盛り上がる事ができたと思います。屋台でもいろいろな食べ物を買って、たくさん食べることができました。くじも楽しみました。来年もかっこいいダンスができるか、今から楽しみです。(S・H 小6年)



養育里親認定前研修

イースターヴィレッジで11/30、12/1の2日間で、養育里親認定前研修を行いました。これは、里親になることを希望された方が、子どもの養育を行うために必要な知識と子どもの状況に応じた養育技術を身につけるために受ける研修です。児童養護施設の現状を知っていただくと共に子どもたちと触れ合っていただく貴重な機会です。

1日目は座学の後、午後から幼児さんとホットケーキ作りをしました。ホットケーキをアイスやフルーツ、チョコで飾り付け、里親さんたちと楽しく頂きました。2日目は小学生と工作。紙コップでけん玉とかわいいクリスマスツリーを作り、一緒に遊びました。子どもたちは初めて会う里親さんたちにはにかみつつも嬉しそうな笑顔を見せていました。最終日に里親さんたちに研修を終えての感想をお聞きした際、「子どもたちが明るく生き生きとしていて驚いた」「施設のことをもっと知りたいと思った」という言葉を頂きました。今回の研修は子どもたちにとっても楽しいひと時となり、職員にとって新たな学びの場となりました。子どもたちを支えていく社会的養護の一員として、これからも里親さんと連携していきたいと思えます。(職員 林 愛子)



里親レクリエーション

からくりになぎょうをみました。からくりになぎょうがうごくの、たのしかった。からくりおもちゃであそぶときが、もっとたのしかった。キラキラするやつ(万華鏡)が、いちばんすきだったよ。(U・T 幼児)



アビリンピック全国大会

今回、沖縄で行われた「アビリンピック全国大会」に初めて木工部門で出場しました。課題は木の箱を作ることでした。入賞はできませんでしたが、全国レベルの道具、加工、仕上げなどを間近で見ることができ、みんなプロのような完成度で自分の練習不足を感じました。練習を重ねて実力をつけ、また大会に出場できるように頑張ります。(H・N 高3年)



児童養護施設「イースターヴィレッジ」支援 クリスマス・チャリティーコンサート in 足利教会

12月9日、チャリティーコンサートを聴きに足利教会に行きました。マリンバ、ピアノ、リコーダーなどの演奏を聴いたり、お客さんと一緒に歌を歌いました。知っているクリスマスの曲だったので私も歌うことができました。最後に演奏者さんに花束贈呈をしました。素敵な演奏をありがとうございました。(U・S 小6年)



(U・S 小6年)



七五三のお祝い



11月17日にイースターのがくしゅうしつで七五三のおいらいをしてもらいました。

七五三のきものをきて、しゃしんをとりました。そのしゃしんをみんなにみられるのははるかしかたけれど、みんなから「おめでとう。」っていわれたことがうれしかったです。もらったちとせあめもうれしかったです。(A・O 幼児)



もらったちとせあめもうれしかったです。(A・O 幼児)



東京観光旅行 東京タワー&ランチバイキングクルーズ



11月23日、イースターの皆で出かけました。東京タワーに行った後、「シンフォニー」という大きな船に乗り、ランチバイキングをしました。船の中での食事は、初めての経験でした。ポトフやカレー、スープなど豪華でおいしい食事をお腹いっぱい食べることができました。船の上から見る景色も素晴らしくとても楽しい時間を過ごすことができました。ぜひまた機会があればみんなでいきたいです。

(S・M 高2年)

11月23日にイースターの全員で、東京かんこう旅行に行きました。みんなで東京タワーにのぼりました。下から見たらすごく大きく見えて、上から見たら景色がとてもきれいでした。中にはとうめいにすけているゆかがあり、下を見るととても高くてすごかったです。昼の東京タワーもよかったけれど次は夜の東京タワーを見に行きたいです。またみんなで楽しい思い出をいっぱい作りたいです。

(A・S 小6年)

11月23日に子どもたち、職員一同で東京観光旅行へ出掛けてきました。爽やかな冬晴れとなり、子どもたちも朝から楽しみにしている様子でした。

東京タワーへ行き全員で展望台まで上ると、そこからは東京の町並みや富士山といった素晴らしい景色を見ることができ、「すごいね」「高いね」と皆、興奮していました。子どもたちも初めて見る景色に感動しており、透明な床を見つけるとそこから見える真下の景色にしばらく釘付けになっていました。

その後、日の出桟橋から出航する「シンフォニー」に乗船し、ランチバイキングクルーズという滅多に出来ない体験をさせて頂きました。子どもたちも職員も、それぞれ景色を堪能しながら美味しい食事を摂ることができました。船から降りるのが名残惜しく、少し寂しい気もしてしまいましたが、一日を通して楽しい思い出を作ることができました。

今回、寄付を下された方のおかげで子どもたち、職員全員で旅行するという経験をすることができ、素敵な思い出も作ることができました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

職員 梅原 由梨



会員募集中

『イースターヴィレッジとともに歩む会』後援会

年会費

個人年会費 一口 3,000円

法人年会費 一口10,000円

(どちらも何口でも、また、この金額以外でも可能です。)

※なお、会員には広報誌「イースター」をお贈りします。

詳細については、パンフレットを用意いたしましたので、お問い合わせ下さい。

※年度切り替えのため、4月から新年度になります。引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。

郵便振替口座：00100-3-555049

「イースターヴィレッジとともに歩む会」

※なお、振込にての領収書は郵便振替受領証に代えさせていただきます。

『イースターヴィレッジとともに歩む会』は、皆様方の善意をいただき、イースターで生活している、または、卒業した子どもたちに物的・精神的援助を行っていくことを趣旨としている後援会です。この会の趣旨をよくご理解いただき、賛同して下さる方々を募集しています。



編集後記

2018年、冬季オリンピック、サッカーワールドカップ、北海道地震、ノーベル医学生理学賞受賞… 色々なことがありました。皆様にとってどんな1年でしたか？イースターの子どもたち、職員は今年も多くの皆様に支えられながら、過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

短い冬休みですが、クリスマス、お正月と子どもたちにとってお楽しみが盛り沢山です。今年も子どもたちの笑顔がたくさん溢れる日々を過ごせますように… よろしくお願ひ致します。

(とみ・みつ・しほ・たか)

☆ ご質問等ありましたら児童相談所及び栃木県子ども政策課へ問い合わせもできます。